

チューリップの花芽分化状況について(7月11日現在)

平成28年7月13日
経営普及課
(農業革新支援担当)

園芸研究センターにおけるチューリップ花芽定期観測結果から、今年の花芽分化及びノーズの伸長状況について主要3品種のデータを紹介します。

1 供試球根(調査品種)

農業総合研究所園芸研究センター本場(砂壤土)産球根

品種(系統)	掘取日	調査サイズ	初期乾燥	貯蔵
プレルジューム(T)	6月9日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
イルデフランス(SL)	6月9日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
メリーウィドー(T)	6月9日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵

2 花芽分化の状況

- (1) 花芽分化のスタートは品種によりばらついたが、その後は3品種とも急速に分化が進んでいる。
- (2) 品種別には、プレルジュームは内花被分化期(P2)～柱頭分化期(G2)、イルデフランスは内雄ずい分化期(A2)～柱頭分化完成期(G3)、メリーウィドーは分化始期(Ⅱ)～外雄ずい分化期(A1)と、花芽分化段階は平年に比べてかなり早く進んでいる。いずれの品種も、個体により花芽分化にばらつきが見られる。
- (3) ノーズの伸長も、3品種とも平年より早く進んでいる。

3 具体的データ

添付ファイル「T20160711data」参照

※ 次回の生育情報は、7月16日調査のチューリップ花芽分化(第3報)をお知らせする予定です。